

2025 年 12 月 11 日

各 位

大阪大学未来基金「坂口志文研究応援基金」への寄付拠出について

大阪大学特別栄誉教授・免疫学フロンティア研究センター（IFReC）特任教授の坂口志文氏がノーベル生理学・医学賞¹受賞の栄誉に輝かれたことを心よりお祝い申し上げます。

中外製薬株式会社（本社：東京、代表取締役社長 CEO：奥田 修）は、坂口先生の研究活動への支援と免疫学分野のさらなる発展への一助となることを願い、下記のとおり寄付を拠出することを決定しましたのでお知らせいたします。

坂口先生による制御性 T 細胞の発見は、免疫学の常識を根底から変え、免疫のブレーキ役という新しい概念を研究にもたらし、自己免疫疾患の病態解明やがん免疫療法、再生医療・細胞治療の領域など、様々な分野への発展につながりました。当社も坂口先生の粘り強い研究姿勢に倣い、患者さんに新しい治療法をお届けするため、今後も製薬会社の使命として、一層高い倫理観と情熱をもって研究に邁進してまいります。

記

- 拠出額：1 億円
- 拠出先：大阪大学未来基金「坂口志文研究応援基金」

【参考情報】

大阪大学と中外製薬の包括連携契約締結のお知らせー免疫学フロンティア研究センター（IFReC）に対して 10 年間で総額 100 億円を拠出ー（2016 年 5 月 19 日プレスリリース）
https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/20160519150000_180.html

大阪大学免疫学フロンティア研究センターとの共同研究による制御性 T 細胞に関する研究成果が Nature 誌に掲載（2025 年 3 月 28 日プレスリリース）
https://www.chugai-pharm.co.jp/news/detail/20250328153000_1476.html

“iTreg の分化・安定性・機能を強化する方法を発見 ～自己免疫疾患に対する画期的治療法の可能性～”
<https://www.ifrec.osaka-u.ac.jp/jpn/research/20250327-0101.htm>

出典

1. Nobel Prize in Physiology or Medicine: © The Nobel Assembly at Karolinska Institutet
Available from: <https://www.nobelprize.org/> (アクセス日：2025 年 12 月)

以上